

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2010-530820(P2010-530820A)

【公表日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2010-512763(P2010-512763)

【国際特許分類】

B 4 1 F 16/00 (2006.01)

B 4 1 M 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 16/00

B 4 1 M 3/12

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月10日(2011.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を熱再転写シートから物品上へ熱転写印刷するための装置であつて、色素転写を引き起こすために加熱ガスの流れを供給するようになっている加熱手段と、加熱ガスを流れの方向に対して横断する方向に方向付けて、色素転写中に物品上にわたって加熱ガスを分配するための揺動ベーン手段とを含む、装置。

【請求項2】

前記揺動ベーン手段が、揺動動作するように装着された1つ又はそれ以上の長尺なベーンを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記ベーン又は前記各ベーンが往復動部材に固定される、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記往復動部材がカムによって駆動される、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記揺動ベーン手段によってもたらされる分配に対して横断する方向に加熱ガスを方向付けるように配置されている拡散器アセンブリを更に備える、請求項1から4のいずれか一項に記載の装置。

【請求項6】

第1の揺動ベーン手段によってもたらされる分配に対して横断する方向に加熱ガスを方向付けるための第2の揺動ベーン手段を更に備える、請求項1から5のいずれか一項に記載の装置。

【請求項7】

前記加熱手段がヒータ要素とファンとを備える、請求項1から6のいずれか一項に記載の装置。

【請求項8】

物品とシートとの間の相対的移動を引き起こして、シートと物品とを接触させるための手段を含む、請求項1から7のいずれか一項に記載の装置。

【請求項9】

画像を熱再転写シートから物品上へ印刷する方法であって、シートと物品とを接触させることと、シートを加熱ガスの流れに晒すことによって加熱して、シートから物品への色素転写を引き起こすこととを含み、ここで、加熱ガスが流れ方向を横断する方向に揺動態様で方向付けられて色素転写中に物品上にわたって加熱ガスを分配する、方法。

【請求項 10】

ガスが揺動ベーン手段によって方向付けられる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記揺動ベーン手段がカムによって制御される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

揺動速度が 5 ~ 200 ストローク / 分の範囲である、請求項 9 から 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

加熱ガスが、第 1 の方向に対して横断する第 2 の方向に揺動態様で方向付けられる、請求項 9 から 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

シートを予熱することを更に含む、請求項 9 から 13 のいずれか一項に記載の方法。